

公開研究会のご案内

東京大学史料編纂所では、日本学士院のU A I 関連：在外未刊行史料調査事業と連携して、ロシアに所在する日本関係史料の調査を進めています。本科研グループでも、ロシアの旧都サンクトペテルブルクへ出張調査をおこない、多くの日本関係史料を複製で収集してきました。今回の研究会では、収集した海軍提督の日記を解読・翻刻し、日本語へ翻訳する過程で得られたさまざまな知見や問題点を紹介して議論を深めたいと考えます。

日時：2012年3月16日(金)、14:00～16:30
会場：史料編纂所・大会議室(福武地下1階)

〈報告1〉宮地正人(本学名誉教授)

「リハチョフの活動と幕末外交史の課題」

〈報告2〉有泉和子(東京大学史料編纂所学術支援専門職員)

「ロシア海軍提督リハチョフ日記を読む」(仮題)

〈コメント〉ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所
ワジム・クリモフ上級研究員

ロシア海軍提督リハチョフは、1861年、中国艦隊の司令長官として、ポサドニック号による対馬島占拠作戦の実行を指揮しました。ロシア国立海軍文書館が所蔵するリハチョフ日記は、中国から日本、北方海域における彼の活動を記録しています。当日は、宮地正人氏にリハチョフの活動と研究の課題を整理していただき、日記の解読と翻訳を担当する有泉和子氏から報告をうけたいと思います。



※科研グループ内の研究会ですが、どなたでも参加できます。

東京大学史料編纂所

新・東アジア科研グループ

科研費基盤研究A「ロシア・中国を中心とする在外日本関係史料の調査・分析と研究資源化の研究」(研究代表者:保谷 徹)